



平成22年7月23日

各位

東京都文京区本郷二丁目38番18号
株式会社カインノス
代表取締役社長 中村利通
(JASDAQ・コード:4556)
問い合わせ先
責任役職者 専務取締役管理本部本部長
氏名 徳永孔志
TEL (03) 3816-4123

特別損失の発生及び個別業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、下記のとおり当第1四半期会計期間において特別損失を計上することとなりましたので、お知らせするとともに、平成22年5月7日付の当社「平成22年3月期決算短信(非連結)」で発表いたしました平成23年3月期(平成22年4月1日～平成23年3月31日)の第2四半期累計期間及び通期の業績予想を修正いたしましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1).平成23年3月期第2四半期累計期間業績予想(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	2,056	69	61	29	6.51
今回修正予想 (B)	2,120	90	82	10	2.25
増減額 (B)-(A)	64	21	21	△19	—
増減率 (%)	3.1	30.4	34.4	△65.5	—
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期第2四半期)	2,001	66	54	15	3.55

2).平成23年3月期通期業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	4,176	162	143	71	15.94
今回修正予想 (B)	4,260	170	150	49	11.00
増減額 (B)-(A)	84	8	7	△22	—
増減率 (%)	2.0	4.9	4.5	△31.0	—
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	4,215	208	186	101	22.77

修正の理由

当第1四半期における業績につきましては、売上高で11億3千3百万円(前年同期比8.9%増)となりました。営業利益及び経常利益につきましては、それぞれ5千3百万円(前年同期比8.6%増)、5千2百万円(前年同期比26.0%増)と増加いたしました。

また、当第1四半期において特別損失として投資有価証券の減損損失5千1百万円と資産除去債務3百万円の計上を行ったことにより6百万円の純損失となりました。

この特別損失を計上したことによる影響により、平成22年5月7日付の当社「平成23年3月期決算短信(非連結)」でお知らせいたしました平成23年3月期(平成22年4月1日～平成23年3月31日)の第2四半期累計期間及び通期の業績予想を修正いたします。

当社の第2四半期以降における業績につきましては、改良品及び新規品の売上貢献などにより経常利益の段階までにおいては、順調に推移するものと予想いたしておりますが、純利益の段階におきましては、上記の特別損失計上の影響により平成22年5月7日付の当社「平成23年3月期決算短信(非連結)」での予想を下回る見込みです。

この結果、第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高では21億2千万円、営業利益では9千万円、経常利益では8千2百万円、四半期当期純利益では1千万円となる見込みです。

また、通期の業績予想におきましても、上記の影響により売上高では42億6千万円、営業利益では1億7千万円、経常利益では1億5千万円、当期純利益につきましては、4千9百万円となる見込みです。

今後も臨床検査薬市場は厳しい環境にあり、価格競争をはじめとした企業間競争など更に激しさを増すものと予想いたしております。当社におきましては、今後も業績の拡大を目指し経営の合理化と効率化及び効率的な設備投資と経費の使用に努めてまいります。研究開発面におきましても自社研究と共同開発研究を積極的に展開し成果を着実にあげてまいります。

以 上